

SPring-8 利用者懇談会研究会

「物質における高エネルギーX線分光研究会」 議事録

日時： 2008年8月22日（金），13:30～16:30

場所： SPring-8 管理棟1階特別会議室

目的： 当研究会のSPring-8における研究活動について議論する。

すでに2008Bの課題申請に提出しているテーマを研究会構成メンバーに紹介し、内容、方法などを議論する。

また今後の研究会活動のあり方を討議する。

議事録

出席者（敬称略）：寺澤倫孝、伊藤嘉昭、朽尾達紀、半田克己、打田賢司、福島整、山岡人志、藤井達生、村松康司、二宮利男、田村繁治、加納学、学生2人

①寺澤先生から本研究会の発足の説明があった：

SPring-8 利用者懇談会/利用促進委員会では2008年4月より2年間、第二期研究会としてSPring-8 利用研究グループの再編成を進めていて、われわれも申請書を提出していたが、4月24日の評議会において設置が承認され「新規分野開拓」という研究分野に属して研究活動を実施することになった。具体的には京都大学及び物質・材料研究機構で開発された2結晶高分解X線分光器の活用を中心とした関連研究を進めたいと考えている。

②下記プログラム通りの発表がなされた：

朽尾達紀：2結晶分光器の現状での問題点

福島 整（物材）：高分解能X線スペクトルの最近の研究から

山岡人志（SPring-8）：これまでの成果：重い電子系などについて

藤井達生（岡山大）：イルメナイト（FeTiO<sub>3</sub>）の研究について

村松康司（兵県大）：軟X線領域のX線吸収端位置と全電子収量の定量的考察

二宮利男（SPring-8）：SPring-8の産業利用について

伊藤嘉昭（京大化研）：研究会活動

③2008B申請課題の内容紹介（5分×3名）

テーマ名：

1. 超微細粒金属材料の溶製におけるTiCの粒界ピニング効果
2. 二結晶蛍光X線分光法による土壌中の微量栄養元素の化学状態分析
3. (+,+)二結晶X線分光器を用いた高分解能蛍光X線分析による次世代希土類含有酸化モリブデンガラスの化学状態分析

上記の3申請課題はいずれも、不採択となった。

2009A申請用に向けて、SPring-8産業利用の二宮先生に申請の内容などを指導してもらった。また、伊藤の“乾式低温粉碎技術を用いた粉末茶等の製造装置の研究開発と応用”の申請課題が経産省の地域イノベーション創出事業に採択されているので、次回のSPring-8への課題申請にはこのテーマに関する内容の研究も考慮することにした。

産総研の田村委員からマイクロフォーカスの利用による研究内容の高度化についてのコメントがあった。今後、課題申請の評価に十分耐える研究テーマの提案が必要で、そのためにも微小分析・微小部の状態分析に対応できるような設備の検討をしていくことを議論した。

以上

「物質における高エネルギーX線分光研究会」

代表 寺澤 倫孝

副代表 伊藤 嘉昭（記）